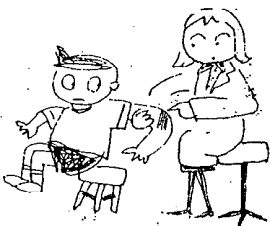
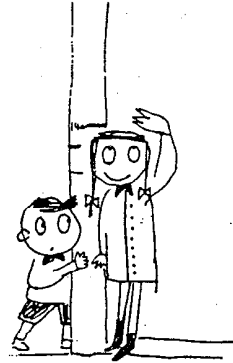


Q 12

保健室登校をしている不登校児童生徒の保護者が、担任を通さずに、養護教諭に直接相談することが多くなりました。そのような場合、養護教諭は具体的にどのように対応したらよいでしょうか。

A 養護教諭の保護者への対応

- ..... 養護教諭の基本的対応 .....
- 保護者の養護教諭への信頼はしっかり受け止めながらも、養護教諭だけでなく、学校を挙げて取り組んでいくことを保護者に説明します。
  - 保護者に、子供の学級復帰に向けて、特に担任との連携の重要性を説明し、担任と保護者の信頼関係を損なわないように配慮します。
  - 現時点の養護教諭の立場や動きについて、管理職等からも担任及び職員全員に説明してもらいます。
  - 担任に子供及び保護者の状況について、随時報告します。



- ..... 保護者の気持ちの理解 .....
- 保護者は、自分の子供にかかわってくれる人であれば、学校の立場や役割に関係なく信頼を寄せてきます。
  - 保護者は、担任に遠慮したり、自分の気持ちをうまく伝えられなかったりして、子供のことを話しやすい養護教諭を頼ってくる場合もあります。



《保護者への言葉掛けの例》

- ・ 「Aさんは、最近では家での様子はいかがですか。担任の先生もAさんのことは心配していましたよ。」
- ・ 「保健室は、Aさんが教室に復帰できるようになるためのステップとして活用していただいています。私も担任の先生とも連携を取りながら進めていますので、どうぞ安心してください。お母さんの協力もいろいろとお願いします。」

《担任への言葉掛けの例》

- ・ 「Aさんが保健室登校するようになって、母親と私が話すことが多くなりましたけど、よろしいでしょうか。」
- ・ 「Aさんが学級に復帰するまでは、私のできる範囲内で先生のお手伝いをさせていただきます。」